

なるほどのう



学校教育担当
キャラクター
甲斐善之助

西部教育局からのお役立ち情報

今月のトピック紹介版

3月号



指導事項を明確にした小学校国語科の授業づくり(3月)

**【島根大学との共同研究】中学校外国語定期テスト作成研修会
～どのような問題が良問なのか？実際に問題をつくってみよう！！～**

外国語教育の充実を図る!!!

～小中連携を見据えて、
小学校・中学校ともに大切にしたい指導のポイント vol.2～

特別支援教育ほっと通信

～子供たちの力を最大限まで伸ばすための引継ぎの在り方～

ゼロからのスタートじゃない！

スタートカリキュラムで子供の育ちと学びをつなぐ！

指導事項を明確にした小学校国語科の授業づくり(3月)

新学習指導要領全面実施直前です！

国語科の目標を再確認しましょう

分からない言葉や具体のイメージが明確でない部分はありませんか？

国語科の目標は...

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、**言語感覚を養い**、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

「言語感覚を養う」とありますが、具体的にどのような力を子供に付けばよいのでしょうか。



「言語感覚」とは言語で理解したり表現したりする際の正誤・適否・美醜などについての感覚のこと

付けるべき力は

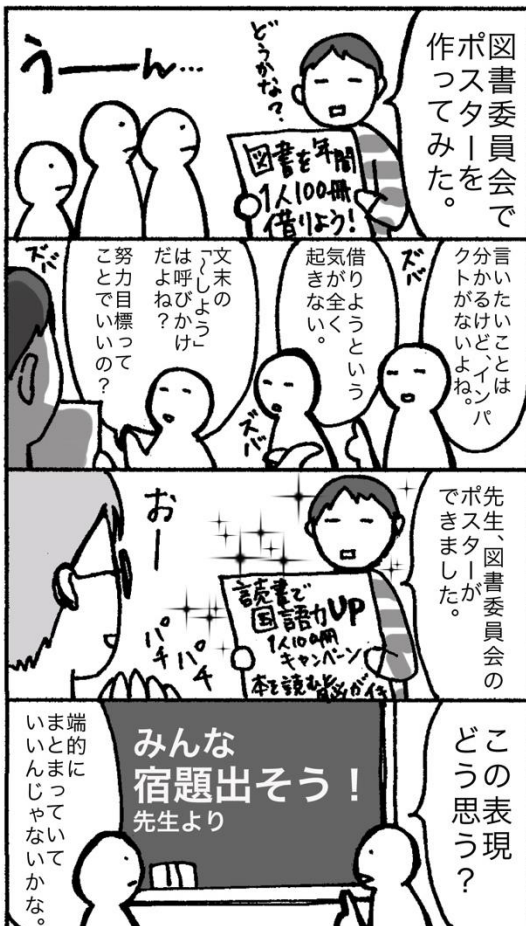
◇具体的な言語活動の中で、相手、目的や意図、場面や状況などに応じてどのような言葉を選んで表現するのが適切かを**直感的に判断する力**

◇話や文章を理解する場合に、そこで使われている言葉が醸し出す味わいを**感覚的に捉える力**

言語感覚を養うために教室で使いたい一言

「この表現、どう思う？」 「本当に適切かな？」 「一番ぴったりかな？」

言語感覚が育っている学級の日常



まずは子供の直感的、感覚的な捉えを大切にしましょう。

意味がよくわからないな。



なんとなくしっくりこない。



伝えたいことがよくわかる！



正誤、適否、美醜などの検証の視点を与えることで、一人一人が自分なりのものの見方や考え方を形成できるようにしましょう。

主語が抜けていたり、誤字・脱字が多かったりするので読みづらいんだな。



親しい相手にむけての文章なのに、言葉が硬すぎるのかな。



言葉の選び方や言い回しが上手だな。この表現を使ってみよう。



- 言語感覚を鍛えるための手立てとして、
- ◇多様な場面や状況における学習の積み重ね
 - ◇継続的な読書
 - ◇他教科の学習や教育活動全体と関連させるなどが有効です。(学習指導要領解説より)



教師自身の言語感覚を磨くことが大切です！



子供の表現が適切かどうかを判断し評価できますか？
子供の表現を味わい深く捉えていますか？

教師は子供の言語モデルです。

【島根大学との共同研究】中学校外国語定期テスト作成研修会

令和2年3月
島根大学との共同研究
西部教育局

～どのような問題が良問なのか？実際に問題をつくってみよう！！～

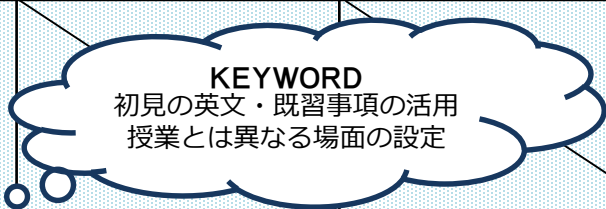
2月3日、島根大学教育学部から先生をお招きし、中学校定期テスト作成研修会を開催し「読むこと・書くこと」の出題について検討しました。当日は12名の参加があり、終了時のアンケートでは、全ての先生から「大いに参考になった」との声をいただきました。

中学校外国語定期テスト作成の留意点（読むこと・書くこと）

教科書やノートを持ち込むと答えの書き写しができる問題（内容準拠）から目標準拠アプローチの問題へ



教科書やワークを暗記すれば解答できる出題に終始していませんか??

	知識・技能		思考・判断・表現	
	読むこと	書くこと	読むこと	書くこと
アプローチ 内容準拠	教科書等の内容をそのまま出題。問自体が既習であり、理解していなくても記憶で正解できる。	授業中に書かせた作文と同じ作文をテストで出題し、書くことを求める。		
アプローチ 目標準拠	教科書等の内容を少し変えて出題。問は初見であり、文法や表現を理解していないと解けない。	授業中に書いた作文とほぼ同一の場面条件で新規にその場で作文させる。語彙、表現、文法を使って書けるかどうかを評価する。	既習の語彙や文法で書かれた初見の文章を出題。授業で指導した「読み方」ができるかどうかを評価する。	授業中に書いた作文と異なる場面・条件で新規に作文させる。授業で指導した「書き方」ができるかどうかを評価する。

西部地区の先生方が作成された良問の共有・問題づくり（演習）

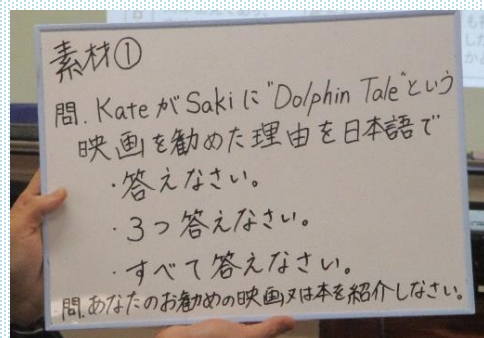
良問の例「書くこと」

○次の会話の続きを考えて書きましょう。対話の前には、AかBを書きなさい。※文の数は、いくつでもよい。

- A Today is my birthday.
B Oh, happy birthday. I'm sorry I forgot.
A That's OK.
B I'll give you a present tomorrow.
・・・（続きを考えよう）・・・



授業中のスキットづくりの活動で身に付いた力を見る良問でした。



問いかけで難易度を調整する。読んで理解したことを、英語で表現する。

【参加者の声】

- 他の先生方の問題を見させていただき、考えるポイント等、ヒントをたくさんいただきました。問いの作り方も、様々な好事例を示していただき、分かりやすかったです。
- これまでテストづくりの研修会はなかったので、大変参考になりました。



外国語教育の充実を図る!!!

西部教育局からのお役立ち情報
(2020年3月号)

～小中連携を見据えて、小学校・中学校ともに大切にしたい指導のポイント vol.2～

文部科学省 山田誠志調査官招聘 境港市立第二中学校 公開授業・授業研究会、講演会(1/16)

《Small Talk 指導上の留意点》

生徒に**使わせたい言語材料**を使って、
英語担当とALTが**生徒を巻き込みながら**モデルとして示し、
取り組ませながら力を付ける(活動→必要な指導→活動)



- 生徒に使用させたい言語材料を明確にしていますか？
- 生徒が活動のイメージをもてるモデルになっていますか？
- 生徒は「黙って聞く人」(英語担当とALTだけのやり取り)になっていませんか？
- 活動させっ放しで終わらず、活動後に指導をしていますか？

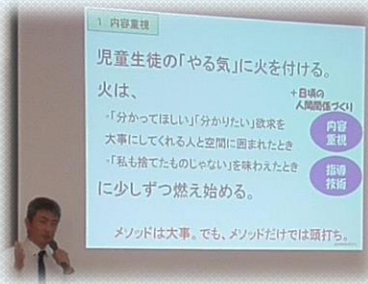
【授業より】“I ate fish and rice.”と話した友達に
“What fish?”と何とか英語で問い返せた生徒。活
動後の指導場面で既習の“What kind of ~?”と
いう表現を教えてもらい、「あ、kind か」と納得！

R2年度(移行期間2年目)の授業づくりで重視したいこと

「内容」重視

教師自身が・・・

- ◆「生徒の発話(思い)を受け止める」という姿勢をもち、内容を重視することを貫く
- ◆コミュニケーションの手段として英語を使う



小学校でも重要なポイント!

山田調査官講演会より

「言語活動」重視

- ◆「言語活動」は生徒の思考・判断が伴うもの
→思考・判断する対象は「内容」と「英語」

何を言おうかなあ・・・



英語ではどう言えばよかったっけ・・・

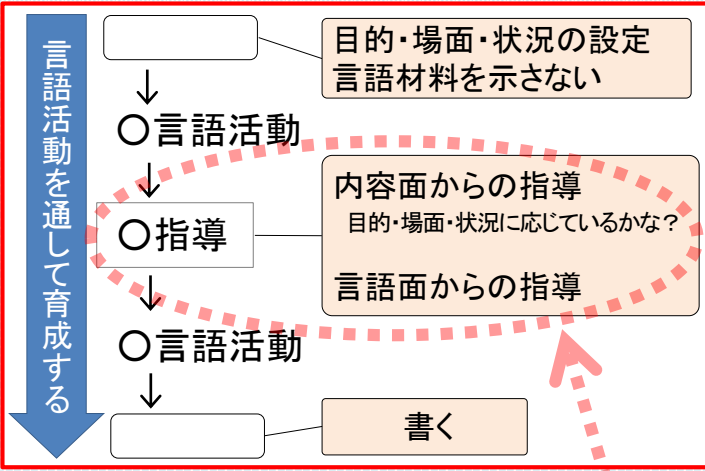
内容

英語

山田調査官講演会資料より

「やりとり」重視

- ◆互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を重視
→まずは教師が自分の考え・気持ちを伝え子供とやり取りをする
- ◆授業は英語で行うことを基本とする
→授業を実際のコミュニケーションの場面に
- ◆「話すこと[やり取り]」を新設
→やり取りは、コミュニケーションにおける中枢的役割を果たしているとされている

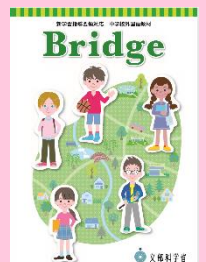
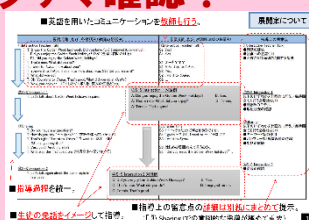


活動中の生徒の発言を取り上げて指導するためには、指導することを絞る(例:内容面のみチェックする等)、意図的な中間指導が不可欠です。



重要! 「知らなかった」ではすまない…文部科学省HPで、今すぐ確認!

- ① 移行期間における指導資料(小中接続・帯活動)
*R1年度の1年生、R2年度の1・2年生が対象
- ② 新学習指導要領対応 中学校外国語教材 Bridge
*R2年度の1・2年生が対象





確実な引継ぎ

切れ目ない支援の実現

安心して学べる場の保障

◇年度末に行うこと～引継ぎの準備・まとめ～

【学級経営】

学級経営の評価

法定帳簿等

指導要録 出席簿 健康診断書

児童生徒に関する資料

個別の教育支援計画 個別の指導計画 諸検査の記録

通知表の写し 家庭環境・生育暦等の記録 懇談資料 等

学級経営に関する資料

教育課程 学級経営案 児童生徒名簿

年間指導計画 時間割表 学級便り 等

就学支援・校内委員会等に関する資料

校内委員会・校内就学支援委員会等の記録

入級の際の就学支援資料(個人調査書、観察票、診断書 等)

保護者の入級承諾書(同意書)

子供たちの力を
最大限まで伸ばす!



年度末に行うことを
改めて確認し、準備しましょう。



【学習指導】

学習指導に関する資料

教室環境

各教科等で使用した教材・教具(プリント類、指示書・手順書 等)

授業や生活、行事等の様子(写真、作品の写し 等)

その他学習の参考となるもの(写真・ビデオ 等)

授業研究会の指導案や研究会記録

個別の教育支援計画の評価・見直し

通知表の作成

個別の指導計画の評価・見直し

児童生徒の実態の加筆 次年度の「個別の指導計画」(案)の作成

指導内容、指導における工夫、児童生徒の変容等についての評価と見直し

目標及び指導内容等の達成状況の記録

交流学級担任との連携

年間の指導等についての反省 次年度への引継事項の確認

次年度の教育課程についての協議・編成

各教科/自立活動/各教科等を合わせた指導/交流及び共同学習 等

通知表は、学習したことの羅列やエピソード記録ではなく、児童生徒の学習への取組の様子、個人目標に対する評価や変容の様子等を簡潔に記載することがポイントです。



「特別支援学級担任のための手引き第2号」平成23年1月鳥取県教育委員会より(一部修正)

1年間の成長を確認するとともに、次に目指す姿を明確にしましょう。
また、新年度のスタートで子供たちが困らないように、**確実に引継ぎ**をしましょう。



個人ファイルを作成し、資料等を整理して綴りましょう。(インデックスの活用)
個別の教育支援計画、個別の指導計画、個人ファイル等を活用して引き継ぎましょう。
「いつ」「だれと」「何を」「どのように」を明確にして、引継ぎの準備をしましょう。
個人情報への取扱いに留意しましょう。(保管場所、保存期間 等)



スタートカリキュラムで子供の育ちと学びをつなぐ！



新1年生は、みんな小学校での生活を楽しみにしているようだ。円滑なスタートが切れるように、みんなでバックアップしよう。



新学習指導要領では入学当初において

「児童が自己を発揮しながら学びに向かうことができるようにすること」とあります。そのためには…

園と連携、協力する。

- 保育者との引継ぎで児童の実態や指導の在り方などについて協議
- 園からの指導要録、保育要録等を担任だけでなく養護教諭等と共に確認
- 園を訪問し、生活リズム、環境構成、保育者の関わり方等を確認

学校体制で 新1年生を バックアップ！



学校全体での取組とする。

- 1学年合同による授業
- 他学年との交流活動・サポート
- 養護教諭や専科担当教諭等とのチーム・ティーチング
- スタートカリキュラムの必要性や内容を1年担任だけでなく、全ての教職員で理解、共有



期待が不安に変わってしまう子供もいるようですね…。



勉強って難しいのかな
園の生活と全然違う？
わからないことが
たくさんありそうで心配

スタートカリキュラムは、『子供にとっての安心プログラム』と言えます。全校体制でスタートカリキュラムに臨むことで、『保護者も安心』『先生も安心』のプログラムになります。

そんなときこそ！

スタートカリキュラムをCheck!!



園の生活と全然違うのかな…

これまでの経験を問いかねながら学校のルールやマナーを確認。

「廊下を歩くときに、園で気を付けていたことはある？」
「静かにゆっくり歩くようにしていたよ。」
「わたしの園でもそうだったよ。」

じっとしてられないかも…

安心して学校生活を送るための工夫（例）

- ・個別の活動と（小）集団での活動を効果的に組み合わせる。
- ・手遊びや歌、絵本の読み聞かせ、お話タイムなど幼児期に慣れ親しんだ活動を取り入れる。
- ・集中時間、意欲の高まりを大切に10～15分程度の短い時間を活用したり、2時間続きの学習活動を位置づけたりする。

小学校の勉強は難しそう…

思いや願いを生かした学習活動を構成する。

「広い校庭で遊んでみたいなあ。」
「あのお部屋には、何があるんだろう。」
（生活科での学校探検）

体験をきっかけにして、各教科等につなげる。

「先生、あのね。学校探検でいっぱいいいもの見つけたよ。」
「絵を描いて教えてあげるよ。」
（生活科と図工、国語）

とっても心配だったけど、学校って楽しいよ

明日も学校に行きたいな。



【参考】「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム」
文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター編著

1年生は、義務教育のスタートであり、そのスタートを円滑に切れることは、その後の学校生活を支えることとなります。入学当初、児童が安心して小学校生活を楽しみ、自らの力を発揮しながら主体的な学習者として育っていく過程を思い描き学校全体で何ができるのか確認することが大切です。

令和2年度 各種研修会・協議会等スケジュール表(令和2年2月28日現在・・・随時更新します)

月	日	研修会名等	会場	備考
4月	1日 (水)	臨時的任用教員等辞令交付式 エキスパート教員更新者辞令交付式	米子コンベンション 西部総合事務所	
	10日 (金)	スクールカウンセラー連絡協議会	ヴィレステ日吉津	
	13日 (月)	学校生活適応支援員連絡協議会(予定)	西部総合事務所	
	16日 (木)	全国学力・学習状況調査	各学校	
	21日 (火)	西部地区人権・同和教育振興会議総会	西部総合事務所	
	28日 (火)	西部地区研究主任等情報交換会兼 令和2年度主体的・対話的で 深い学びの実現による学力向上事業連絡協議会(予定)	西部総合事務所	
5月	25日 (月)	西部地区幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会	西部総合事務所	
6月	16日 (火)	公開授業・授業研究会(外国語科)及び西部地区学力向上・新時代の教育 を考える講演会 ※講師:文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 国際教育課 山田誠志 教科調査官	小学校・中学校 (各1会場の予定)	
	17日 (水)			
	25日 (木)	西部地区人権・同和教育振興会議第1回研修会	西部総合事務所	
7月	27日 (月)	教務主任等研修会(特別支援教育)	西部総合事務所	
8月	6日 (木)	鳥取県教育課程研究集会	中部会場	
	7日 (金)			
10月	29日 (木)	公開授業・授業研究会(算数科)及び西部地区学力向上・新時代の教育を 考える講演会 ※講師:文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 笠井健一 教科調査官	小学校(2会場)	
	30日 (金)			
11月	6日 (金)	西部地区特別支援教育連携協議会	西部総合事務所	
	11日 (水)	西部地区幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会	西部総合事務所	
	24日 (火)	公開授業・授業研究会(外国語科)及び西部地区学力向上・新時代の教育 を考える講演会 ※講師:文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 国際教育課 山田誠志 教科調査官	小学校・中学校 (各1会場の予定)	
25日 (水)				
12月	7日 (月)	教務主任等研修会(特別支援教育)	西部総合事務所	
1月	28日 (木)	公開授業・授業研究会(算数科)及び西部地区学力向上・新時代の教育を 考える講演会 ※講師:文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 笠井健一 教科調査官	小学校(1会場)	